

四万十市新食肉センター整備基本設計業務委託プロポーザル技術提案書評価要領  
客観評価用

1 評価要領（客観評価用）の位置づけ

本要領は、四万十市新食肉センター整備基本設計業務委託公募型プロポーザル実施要項に基づき、事務局が参加者の客観的審査を行うための評価点の算出方法を示すものである。

2 技術提案書提出者の選定方法

（１）事務局は、本要領に基づいて参加表明者の提出書類の客観的審査を行い、技術提案書の提出を要請する客観的評価点上位５者を選定する

（２）評価項目及び配点は、以下のとおりとする。

評価項目	配点
I 客観評価	116

### 3 審査項目及び配点基準の明細

(1) 客観評価審査における審査内容及び配点基準の詳細は以下のとおりとする。

評価項目		評価の着目点					評価	
		判断基準					配点	
客 観 評 価	(A) 参加者の評価	ア 技術職員数	技術職員数を評価する				5	
		イ 有資格者数	有資格者数を評価する				5	
		ウ 実績	実績の種類、規模、件数について評価する				15	
		小計					25	
	(B) 配置技術者の資格	専門分野の技術者資格	各担当分野について、資格（取得後1年以上のものに限る）の内容により評価する	主任技術者	管理技術者		3	
					建築	総合	3	
						構造	3	
					電気設備		3	
					機械設備		3	
					積算		3	
		小計					18	
		(C) 担当技術者業務実績	ア 同種業務の実績（実績の有無及び件数、携わった立場）	担当技術者について同種業務実績に携わった立場により評価する	主任技術者	管理技術者		9
						建築	総合	9
	構造						9	
	電気設備					9		
	機械設備					9		
	積算					9		
	イ 現在及び本業務に携わった際の手持ち業務件数		本業務における専任度を評価する	主任技術者	管理技術者		4	
					建築	総合	3	
						構造	3	
					電気設備		3	
					機械設備		3	
					積算		3	
	小計					73		
	合 計							116

#### (A) 参加者の評価

事務所に所属する技術職員数及び有資格者数について評価を行う。

##### ア 技術職員数【5.0点】

技術職員数の評価は下記による。

技術職員数（人）	評価点
200～	5.0
100～199	4.0
50～99	3.0

20～49	2.0
～19	1.0

イ 有資格者数【5.0点】

有資格者数の評価は下記による。有資格者数は、一級建築士（構造設計建築士、設備設計一級建築士を含む）、建築積算士の有資格者数とする。

有資格者数（人）	評価点
150～	5.0
100～149	4.0
50～99	3.0
20～49	2.0
～19	1.0

ウ 参加者の同種業務実績【15.0点】

①同種業務実績（実績の有無及び件数）について評価を行う。設計実績各3件を1件あたり基礎配点5点として、受注体制の係数を乗じた合計点数にて評価する。

件数	基礎配点
3	5

受注体制	体制係数
①単独業務	1.0
②JV業務	0.7
③協力業務	0.3

評価点の計算は下表のとおりとなる

件数	基礎配点 A	体制係数 B		評価点 A*B	合計
1	5	単独業務	1.0	最大評価点 5.0	15.0
		J V業務	0.7		
		協力業務	0.3		
2	5	単独業務	1.0	最大評価点 5.0	
		J V業務	0.7		
		協力業務	0.3		
3	5	単独業務	1.0	最大評価点 5.0	
		J V業務	0.7		
		協力業務	0.3		

(B) 配置技術者の資格【12.0点】＋【加点分6.0点】 最高18.0点

配置技術者の有する資格（※初回登録後1年以上のものに限る）について、下表の資格評価表により評価する。

担当業務分野	評価する技術者資格	評価点	加算点
管理技術者	一級建築士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0
建築（総合）	一級建築士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0
建築（構造）	構造設計一級建築士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0
電気設備	設備設計一級建築士又は建築設備士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0
機械設備	設備設計一級建築士又は建築設備士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0
積算	建築積算士	2.0	－
	上記の資格の評価点に加算できる資格		
	CASBEE 建築評価員		1.0

(C) 担当技術者業務実績 【73 点】

各担当技術者の実績及び手持ち業務について評価を行う。

ア 同種業務実績の有無 【54 点】

a 担当業務分野配点

管技 3 点/件、総合 3 点/件、構造 3 点/件、電気 3 点/件、機械 3 点/件、積算 3 点/件  
過去の実績 3 件までを下記により評価する。実績がない場合は 0 点とする。

b 過去の実績での立場

過去の実績での立場	管理技術者の 実績評価の場合	主任技術者の 実績評価の場合
管理技術者又はこれに準ずる立場	1.0	1.0※1
主任技術者又はこれに準ずる立場	0.5	1.0
担当技術者の立場	0.3	0.5

※1 当該実績の主たる担当業務分野が、本業務での担当業務分野と同じ場合に限る。

計算は下表のとおりとなる。

担当業務分野 a	過去の実績での立場 b	小計 a*b	合計
管理技術者 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	54.0
	主任技術者 0.5		
	担当技術者 0.3	9.0	
建築（総合） 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	
	主任技術者 1.0		
	担当技術者 0.5	9.0	
建築（構造） 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	
	主任技術者 1.0		
	担当技術者 0.5	9.0	
電気設備 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	
	主任技術者 1.0		
	担当技術者 0.5	9.0	
機械設備 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	
	主任技術者 1.0		
	担当技術者 0.5	9.0	
積算 配点 3	管理技術者 1.0	最大評価	
	主任技術者 1.0		
	担当技術者 0.5	9.0	

イ 手持ち業務件数【19.0 点】

【配点 管技 4 点、総合 3 点、構造 3 点、電気 3 点、機械 3 点、積算 3 点】

管理技術者の場合	
業務件数	専任度
0	1.0
1～2	0.8
3～5	0.6
6～	0.4

建築（総合）の場合	
業務件数	専任度
0	1.0
1	0.8
2～3	0.6
4～	0.4

その他の場合	
業務件数	専任度
0～1	1.0
2～3	0.8
4～6	0.6
7～	0.4

担当業務分野 配点 A	手持業務 件数	専任度 B	小計 A*B	合計
管理技術者 配点 4			最大 4	19
建築（総合） 配点 3			最大 3	
建築（構造） 配点 3			最大 3	
電気設備 配点 3			最大 3	
機械設備 配点 3			最大 3	
積算 配点 3			最大 3	